

# 次期 香川県農業・農村基本計画骨子案の概要 (令和3年度～7年度)

## 香川県農業・農村の現状

農業従事者の減少や高齢化、グローバル化の進展による競争激化、集落機能の低下など、農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。また、中山間地域を中心に農業人口が減少し、農業生産のみならず地域コミュニティの維持が困難になることも懸念されている。一方で、新規就農者が一定数確保され、担い手の経営規模も拡大傾向にあり、ブランド農産物の生産拡大が図られるなど、明るい兆しも見られている。

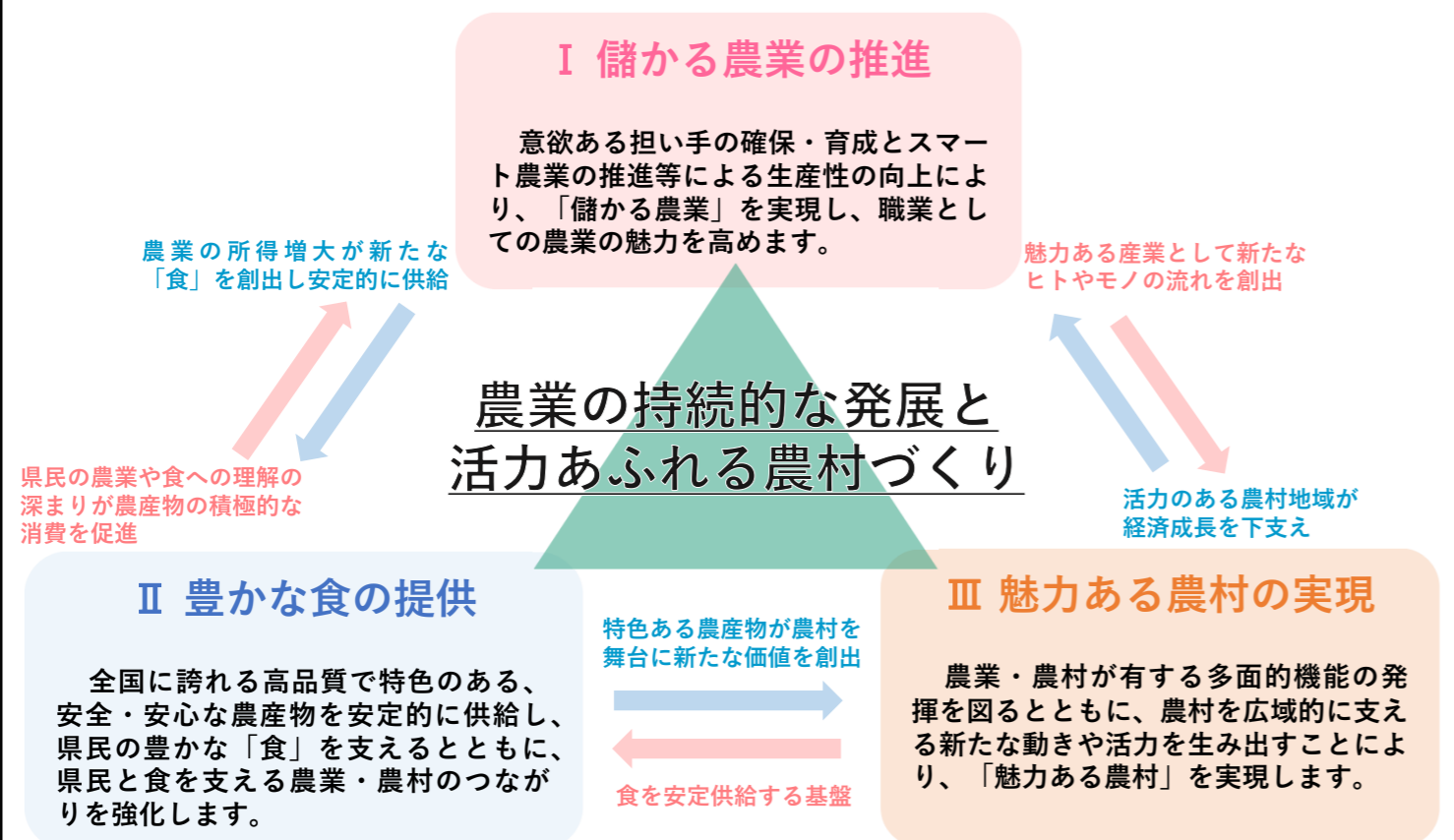
| 項目             | 進捗                          | 項目                 | 進捗                     |
|----------------|-----------------------------|--------------------|------------------------|
| 基幹的農業従事者数      | 25,650人(H22) ⇒ 18,190人(R2)  | 基幹的農業従事者平均年齢       | 69.4歳(H22) ⇒ 71.3歳(R2) |
| 1戸当たり経営耕地面積    | 0.87ha(H22) ⇒ 1.07ha(R2)    | 新規就農者数             | 98人(H22) ⇒ 131人(R元)    |
| 農業産出額          | 747億円(H22) ⇒ 817億円(H30)     | 肉用牛産出額             | 29億円(H22) ⇒ 47億円(H30)  |
| ほ場整備率          | 34.0%(H22) ⇒ 38.2%(R元)      | 担い手の農地集積率          | 26.8%(H22) ⇒ 28.1%(R元) |
| 多面的機能支払の活動支援面積 | 7,168ha(H22) ⇒ 13,071ha(R元) | グリーン・ツーリズム交流施設利用者数 | 98千人(H22) ⇒ 171千人(R元)  |

## 本県農業・農村を取り巻く環境の変化

- 人口減少と国内需要等の変化**
  - 国内需要の量的縮小
  - 消費者ニーズの多様化
- グローバル化の進展**
  - 輸入量増加や価格低下懸念
  - インバウンドの増加
- 大規模自然災害リスクの高まり**
  - 台風や地震等の自然災害
  - 鳥インフルエンザ等の家畜伝染病
- 社会全体のデジタル化の進展**
  - ICT技術で農業者の匠の技をデジタル化
  - 新たな農業への変革(農業DX)実現
- 新型コロナウイルス感染症の拡大**
  - 人々の生活や意識の変化
  - 食料の安定供給や影響を及ぼすリスクの顕在化
- 持続可能な開発目標(SDGs)の取組み拡大**
  - SDGsの理念と、農業の持続的発展とは方向性が同じ
  - 耕畜連携で、環境に優しい農業を実践
- 「田園回帰」志向の高まり**
  - 農村に注目する若者が増加
  - 農村への移住の増加が期待

## 『農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり』を目指して

### 【基本目標と3つの基本方針】



### 【施策体系】

